

# MICE最適地「韓国」の多彩な魅力

ときめく韓国



済州民族村(チェジュ)



高層ビルと伝統家屋が調和する松島韓屋村(仁川)



フローティングアイランドコンベンション(ソウル)



映画の殿堂(釜山)



## MICE開催地に韓国を選ぶべき10の理由

先端技術と伝統文化を合わせ持つ韓国。そのダイナミックで多彩な魅力は、MICE開催地としての韓国の魅力に直結する。世界最高水準のMICEインフラを有し、安全で持続可能なMICE開催を約束する。MICE開催地として最適な韓国の魅力を紹介しよう。

1

世界トップレベルの  
コンベンション開催地

韓国のMICE市場規模はコロナ前に世界14位を誇る。過去10年間の国際会議件数はICCA(国際会議協会)統計で5%増、UIA(国際団体連合)統計で22%増と急増しており、2021年のUIA統計では国際会議の開催件数は世界2位、アジア1位を誇る。MICE大国の韓国ならあらゆるニーズに対応できる。

2

魅力あふれる多彩な  
MICE都市

世界トップレベルの17のコンベンションセンターと17のコンベンションビューローを有する韓国。大小様々なイベントや団体客を受け入れる準備は整っている。11の主要なコンベンションセンターでは360度VRサービスで事前にバーチャル視察もできる。

3

韓国ならではの  
「コリア・ユニークベニュー」

韓国ならではの特別な体験を約束する「コリア・ユニークベニュー」。韓国でのイベントや国際会議をより個人的で印象的なものにしてくれる。韓国には伝統文化、芸術、韓流、自然など、多様な魅力が感じられるユニークベニューが揃っている。

4

超高速ITインフラ

韓国はスマートフォン向け5Gネットワークサービスを世界で初めて商用化しており、ハイパーコネクティビリティは韓国の強み。公共施設ではいつでもどこでもフリーWi-Fiに接続できる。最先端技術を活かした感染防止対策で、withコロナでも安全安心のイベントが開催できる。

5

簡単便利な  
グローバルアクセシビリティ

韓国の国際線路線網は北東アジアで最大規模を誇る。韓国を代表するハブ空港の仁川空港を玄関口として、韓国国内は韓国高速鉄道(KTX)、高速道路網などが充実しており、ソウルから全ての主要都市に3時間以内で移動できるアクセスの良さは大きなメリット。

6

伝統と最新トレンド  
「Kカルチャー」

韓国は15のユネスコ世界遺産を有する。ソウルのモダンな高層ビル群に囲まれた宮殿の眺めは、韓国ならではのダイナミズムを感じさせる。世界的に人気のBTSや「イカゲーム」など、世界に認められた「Kカルチャー」が韓国でのMICEイベントを多彩に彩る。

7

韓国でしか体験できない  
アクティビティ

韓国では参加者の好みに合わせた多彩なチームビルディングのプログラムを用意している。人気の韓流文化体験やテンプルステイ、伝統文化体験などは、韓国文化により深く触れることができる。韓服を着て観光を楽しむ特別な体験も。

8

安全な旅行先・韓国

韓国は政治・経済環境が安定していることに加え、万全のコロナ感染防止対策で「安全な旅行先」としての評価が高まっている。賑やかなナイトライフも自由楽しめる韓国はイベント主催者にとって安心してMICEイベントを計画できるのが強み。

9

美味しくて多種多様な  
韓国グルメ

美味しくてヘルシーな韓国グルメは、韓国でのイベントやインセンティブツアーに大きな付加価値を与えてくれる。ベジタリアンをはじめ様々な食のニーズに応えられる。料理教室に参加しキムチやピビンバ作りなどの体験プログラムもおすすめ。

10

充実の  
MICE支援プログラム

韓国のMICE推進機関「韓国MICEビューロー」では国際会議の開催を支援している。50人以上の外国人が参加し、2日以上開催される国際会議が支援対象。500人以上の外国人が参加する場合は追加支援が受けられる。

# 韓国で安心安全なMICEを

韓国は早くからアジアのMICE大国だったが、昨今の世界的なKカルチャー人気によって韓国のMICE市場は急成長してきた。また、コロナ禍での徹底した感染対策により、安心安全なMICE開催地としての地位を確固たるものにつつつある。Withコロナ、アフターコロナに選ぶべきMICE開催地としての韓国の魅力を紹介しよう。

## 感染対策徹底、大型の会議開催 MICE開催都市として評価高める

コロナ禍は世界のMICE市場にも大きな影響を与えたが、韓国はコロナ禍でも最新技術を活用した万全の感染防止体制をとり、数々の国際会議を成功させたことで、MICE開催都市としての評価をさらに高めた。

徹底した感染防止対策によって、いくつもの大型の国際会議を安全かつ成功裏に開催してきた。その成功事例として、韓国企画財政部と世界銀行(WB)、国際開発協会(IDA)が共催した「革新技術国際コンファレンス」をはじめ、ユネスコ生涯学習研究所(UIIL)が2年おきに主催する世界最大の生涯学習コンファレンス「第5回学習都市国際会議(ICLC)」、アジア・太平洋学習都市連盟(APLC)の創立総会を成功裏に開催したことが挙げられるだろう。



## Withコロナ時代のキーワード デジタル化と「グリーンMICE」

コロナ禍は世界に大きな変化をもたらし、人々の生活や価値観にも影響を与えた。そのキーワードとなるのが「デジタル化」と「脱炭素化」だ。非対面社会はデジタル化を加速させたほか、環境保護への意識が高まり持続可能性が重視されるなど、あらゆる産業に改革をもたらした。こうした変化はMICE産業にも見られる。



「デジタル化」については、韓国の充実したICTインフラを基盤に、超高速ネットワークを活用した「スマートコンベンション」は大きな優位性となった。オフラインとオンラインを融合した「ハイブリッドイベント」も活発に行われている。

韓国の主要な展示場やコンベンションセンターではデジタルインフラの構築に本腰を入れており、バーチャル空間を再現した「AR・VR展示場」や「テレビ商談会場」などが実用化されている。釜山のBEXCOにはハイブリッド専用スタジオ、仁川の松島コンベン

シアにはバーチャルスタジオが設けられている。低炭素による「グリーンMICE」はもう一つの重要なキーワードだ。展示場やブースの設営材料、提供される料理に至るまで、イベント全般にわたり環境に配慮する動きがあり、韓国ではさらに最先端技術を活かした低炭素グリーンMICEが実践されている。

## UIA統計で世界2位、アジア1位に 韓国の2021年の国際会議開催件数

UIA(国際団体連合)の統計によると、韓国の国際会議開催件数は2021年に世界で第2位、アジアで第1位に達するなど、コロナ禍でその位置付けを高めた。世界の国際会議開催件数はコロナで一時的に減少したが、MICE市場も本格的な回復傾向にあり、韓国のMICE開催地としての優位性は高まっている。

UIA統計によると、UIAに登録されている国際機関・国際団体が主催する国際会議の開催件数ランキングで、韓国は2021年に世界第2位、アジアで第1位となった。同基準での2021年の世界の国際会議開催件数は前年比52.3%増、韓国での開催件数は85.2%増で、MICE産業がコロナ禍から力強く回復しつつあることが見て取れる。

また、ICCA(国際会議協会)統計では、2021年の韓国の国際会議開催件数は世界10位、アジアで3位だった。ICCAではコロナ禍での新統計方式として、開催予定、オフライン開催、オンライン開催、ハイブリッド開催、デジタル化、持続性の各指標を加味した総合順位を算出している。



# 韓国の魅力的なMICE都市をご紹介 多彩なコンベンションセンターも

## ソウル

### 「ソウルMICEセーフゾーン」を運営 7年連続で「世界最高のMICE都市」に

韓国のソウルは、感染防止対策や衛生対策を徹底した「ソウルMICEセーフゾーン」を運営し、様々なMICEキャンペーンやマーケティングを展開したことで世界の注目を集めた。こうした取り組みが国際的に評価され、国際会議分野のオスカーと呼ばれる「ICCA BEST Marketing Award」を2年連続で受賞した。また、ビジネストラベラー誌の「2020世界最高の国際会議都市」を受賞、グローバルトラベラー誌の「世界最高のMICE都市」を7年連続で受賞するなど、ソウルは世界に冠たるMICE都市として認められている。



フローティングアイランドコンベンション

## 釜山

### 「海雲台国際会議複合地区」 大型の国際展示会や国際会議も開催

韓国では会議施設、ホテル、ショッピング施設、レジャー施設などが一体的に楽しめる「MICE Zone」として「国際会議複合地区」を指定し、誘致強化を図っている。

その筆頭が万博誘致に名乗りをあげている釜山だ。釜山の「海雲台国際会議複合地区」には、大型展示会や国際会議などに対応できる会議施設「Bexco」をはじめ、音響施設に優れた複合映像文化空間「映画の殿堂」など、多様な会議施設が揃っている。ホテルやレジャー施設などが近隣に集積しているのも強みだ。



釜山ヌリマルAPEXハウス

## 大邱

### アジアをリードする国際会議都市に

大邱は、アジアをリードする「ビジネス国際会議複合地区」をめざしている。ハイブリッド会議に対応可能な施設とメタバースを活かした「大邱MICEバーチャルタウン」を構築するなど、MICE産業のトレンドに合わせてオンラインとリアルを適切に組み合わせられる体制を整備した。とくに大邱は、劇場や美術館、体育施設などがすべて揃った慶北大学校が国際会議複合地区の中にあり、国際会議の参加者らにキャンパス内の文化施設を体験してもらえるのも魅力。



大邱展示コンベンションセンター(EXCO)

# ユニークベニューで韓国ならではの体験を

MICE施設が充実している韓国。韓国ならではの特別な体験が行えるユニークベニューを活用すれば、参加者の記憶に残るイベントになることは間違いない。韓国観光公社(KTO)と韓国MICEビューローでは、2018年より「韓国ユニークベニュープログラム」として多様な体験を提供するユニークベニューの開発を続けている。韓国の魅力的でユニークな会場を紹介しよう。

## 韓国家具博物館

ソウル



朝鮮王朝後期の貴重な家具が揃う韓国家具博物館は、韓国で最もユニークな博物館の一つ。この博物館はMICEイベントに対応するスペースが屋内外にある。

## ポンテ・ミュージアム

チェジュ



'Bonte'は「固有の形」を意味し、一人ひとりが持つ固有の美を探求する美術館。広大な展示室と絵画のような庭園はMICEイベントにぴったり。安藤忠雄建築を満喫できる。

## 国立慶州博物館

慶州



慶州国立博物館には新羅時代の文化財として、宝物や装身具などが所蔵・展示されており、講堂やセミナールームなども充実している。

## 金海土器博物館

金海



金海土器博物館は建築陶磁器の博物館。金海市は古代伽耶の陶磁器生産の中心地で、日本の「茶器の故郷」とも呼ばれる。屋内外にスペースがあり最大110名まで収容可能。

## 映画の殿堂

釜山



世界最大のビッグルーフが印象的で、釜山国際映画祭の会場として知られる。6000人規模のスタンディングルームや大型スクリーンなどを擁し、あらゆるイベントに対応可能。

## ナミソム 南怡島

江原道・春川



南怡島では毎年多数の国際イベントが開催される。映画やドラマのロケ地としても知られ、環境に優しい各種プログラムを用意している。

## インセンティブツアーもやっぱり韓国! コロナから開放され自然満喫も

インセンティブツアーも動き出している。K-カルチャーの人気は世界的に高まっており、韓国文化の多彩な魅力を直接体験できるインセンティブツアーの目的地としても韓国は最適だ。多彩な韓国グルメも大きな魅力となる。

また、ウェルネスプログラムが各地で充実しているのも韓国の強み。コロナ禍で健康志向は高まっており、韓国なら自然を満喫できるウェルネスな体験が楽しめる。チェジュ島には世界自然遺産の漢拏山、城山日出峰などがあり、自然散策道のオルレを巡ったり、乗馬、アイランドホッピング、スノーケリングなどの自然体験も楽しめる。

韓国観光公社ではインセンティブツアーの支援プログラムを用意しており、参加人数に応じて様々な支援策を提供している。また、企画担当者の下見なども支援している。

韓国観光公社 東京支社 03-3569-1755



## K-チームビルディングを体験しよう! 韓流から伝統文化体験まで

韓国ならではのK-チームビルディングプログラムもぜひ体験したい。人気の韓流文化体験をはじめ、伝統文化体験、テンプルステイ、レースゲーム、楽器体験、マリンスポーツ、サバイバルゲームなど、韓国の多彩な魅力に触れられるプログラムが用意されている。

韓国のコンテンツは世界的に人気。そんな韓国のコンテンツ文化に触れられるチームビルディングプログラムはいかがだろう。韓国の人気バラエティ番組「ランニングマン」をモチーフにしたプログラムは外国人観光客の間で人気。今年で25周年を迎える人気ミュージカル「ナンタ」の体験プログラムでは、太鼓や拍子でリズムを習い、チームで選んだ音楽を奏でればチームの結束力も高まるはず。最大30人まで参加できる。

